

市民からのお便り

昨年はお便りでお便りありがとうございました。今年もよろしくお願いいたします。皆さま、よいお年を！

「毎年元旦に行われている瓶岩マラソン大会で昨年50歳以上の部で優勝した」と中沢さん。連覇できたのでしょうか。

マラソン歴13年



なかざわ あきのり 中沢 昭典さん (十市)

にこにこライフ

126



近所の人たちに感謝

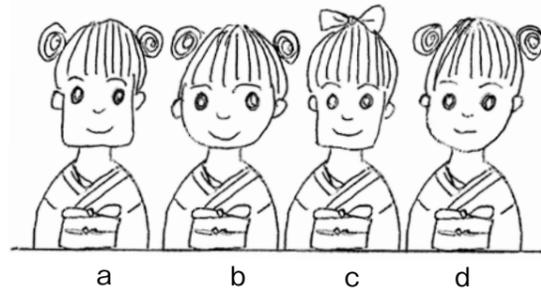


たけいち なおみ 武市 直美さん (田村乙)

夫と子ども3人の5人家族です。南国市に住み始めて3年目。ここは、近所の人々が親切で優しく、親せきのように接してくれます。いろいろな助けをいただき、とても感謝しています。仕事は看護師をしています。学生のころ家の近所に福祉施設があり、障害児が通学する姿を見て何か人の役に立ちたいと思い、看護師になりました。仕事が終わる日は、パンを作ったり家の前の畑でサツマイモなどの野菜を作ったりしていますが、家の片付けで1日が終わってしまうこともあります(笑)。

親子クイズ 464

春美、夏美、秋美、冬美さんが年始のあいさつに来ました。a~dは誰でしょう？



- ①春美さんと秋美さんは隣り合わせ
②春美さんはリボンをしていない
③秋美さんと夏美さんは隣り合わせ
④冬美さんは角顔ではない

【第463回解答】

イラレル

Grid with letters and numbers for the 463rd quiz answer.

【第463回当選者】

- 川西 泰弘 (大埔甲)
公文 修 (大埔甲)
島崎 圭子 (大埔甲)
黒木 秀子 (後免町)
岩内真由美 (領石)

応募締切/1月14日(金)必着
あて先/〒783-8501 南国市大埔甲2301
賞品/正解者の中から抽選で、5名に図書カード(1,000円)を贈呈

★応募総数/36通 ★正解率/97%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

フライト・プラン障害者コーナー④ ~共生社会を目指して~

高知県を中心に甚大な被害をあたえるであろう南海地震が、今後数十年以内に起こることが予測されています。そのような災害の際、障害がある方でも無事に避難できるような体制を確保することが重要な課題の一つです。

大規模災害の際には、行政だけではどうしても対応しきれない面がでてくるため、地域住民の皆さんが協力して自分たちの命を守ることが重要になります。自己の安全確保について考えるとともに、障害者などの支援を要する人たちへの対応についても検討してみてください。障害がある人もない人も、地域の自主防災組織などが開催する訓練や研修に積極的に参加し、災害への備えを充実させましょう。

障害がある方へのアンケート調査では、「災害時に一人では避難できない」という方が3割を超えています。避難ができない方への対応が重要な課題であることがわかります。また、「災害時の避難手段を確保していない」という方が7割を超

えていることから、一人で避難ができる方も、日ごろから防災訓練などに参加して、災害時の行動や避難経路などの確認を行い、避難手段を確保することが重要だと考えられます。

行政と地域住民との連携をさらに強化して、災害の被害を最小限にとどめられるような体制を確立していく必要があります。

Table with 3 columns: Question item, Number of people, Percentage. Data for disaster evacuation.

Table with 3 columns: Question item, Number of people, Percentage. Data for disaster evacuation methods.

*「障害福祉に関するアンケート調査」集計結果

※お問い合わせは、福祉事務所社会係 (☎880-6566) まで

市民からのお便り

脳トレのため、毎月親子クイズを楽しみにしています。できれば、難問を希望します。

3人権学習シリーズ

高校卒業を控え、それぞれの旅立ちを目前にした子どもたちが、保育園卒園時に埋めたタイムカプセルを開けた時のことです。ふたを開けると、十数年の時を経て、子どもたちの『宝物』が次々に取り出されました。当時愛用していたおもちゃや塗り絵、自画像などが見つかるたびに、子どもたちの顔はまぶしいほどに輝き「いやあ、こんなの入れちゃったねえ」「このおもちゃ覚えてちゅうー」など、興奮した声が辺りに広がりました。大きく成長した身体で無邪気にはしゃぐその様子が、幼いころの姿と重なり、私は、懐かしい思いでその光景を眺めていました。最後に、家族からの手紙が取り出されると、次第に歓喜の声は静まり、子どもたちは、それぞれに手紙を読み始めました。しばらくして、私は、数人の子どもが泣いていることに気付きました。ある子どもは、亡くなった祖父からの手紙に、またある子どもは、母親からの手紙に涙を流しています。話を聞くと、最近、母親と意見の衝突が多く、きちんと話をしなかつたようです。おそらく、手紙から、母親が自分

タイムカプセル~時を超えた声援~

※このシリーズは、あなたとあなたの周りにいる人の間に温かなつながりが生まれることを願う、人権について考えるきっかけになることを目的としています。
※お問い合わせは 人権啓発広報委員会 (☎880-6569) まで